

「偶然」が重なって

わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり / わたしの道はあなたたちの道と異なると主は言われる。
天が地を高く超えているように / わたしの道は、あなたたちの道を
わたしの思いは / あなたたちの思いを、高く超えている。

イザヤ書 55 章 8 ~ 9 節 (日本聖書協会・新共同訳)

前の用事が長引いてしまい、次の予定の時間に間に合いそうにない 仕方なく、普段は乗ることのないタクシーを使うことにしました。でもこの辺りはタクシーってあまり通らないんじゃないかしら、電話で呼ぶのはそれだけ時間がかかってしまうし そんなことを考えながら外に出ると、タイミングの良いことに、近所の橋のもとに1台のタクシーが止まっています。助かった！すぐに乗り込み、「駅まで」と告げ、タクシーは走り出しました。やれやれ、これで一安心。内心ほっとしていると、タクシーの運転手さんが、何やら話しかけてきてくださいます。

「いや、まさかここでお客さんを拾えるなんて、思ってもみませんでした」

聞くと、この運転手さん、今日は一日市内を走り回っていたんだけれども、ぜんぜんお客さんが見つからず、まっ

たく商売になっていなかったのだそうです。一日中ぐるぐると走り続けて、「今日はもうだめだな」とあきらめて、「少しだけ休もう」と、普段はめったに通ることのないあの橋のもとに、車を止めていたそこに、わたしがやってきたのだそうです。「わたしも今日は、この車がいてくださって、本当に助かったんですよ。こういうことって、あるんですね」と、二人で笑いあいました。

お客さんが見つからず、今日一日をあきらめかけていた、この運転手さん。予定に追われて、めったに乗らないタクシーを使わなければならなくなった、このわたし。二人とも思うようにいかない辛さや不安を抱えていたのです。けれどもこの思うようにいかないできごとをおして、新しい出逢い、思いもかけない喜びが与えられた 二つの「偶然」が重なって、二人ぶんの笑顔

が生まれました。

このできごとを、「偶然」で片付けてしまうのは簡単です。けれども、こんな素敵な出逢いを、「偶然」ということばで片付けてしまうのは、ちょっともったいないような気がしませんか？ ひとつひとつの「偶然」を結び合わせて、素敵な「必然」にしてくださる方がおられる。その方が、わたしとこのタクシーの運転手さんとを、出逢わせてくださった。心に抱えていた重い荷物を、笑顔に変えてくださった。そして同じその方が、今こうして、このメッセージを綴っているわたしと、それを読んでくださっているあなたとを、結び合わせてくださっている。そのようにしてその方は、確かにわたしたちの生きる一歩一歩を守ってくださいている そのように考える方が、何倍も、生きることが楽しくなると思うのですが いかがでしょうか？

Aki

